

日曜日... 刊日... 頁六十月二十

平町小學校教員の 年末賞與三千圓

現職員八十四名に對し

平町に於ける本年度の教育費 三十人、第三校二十四人計八
は十萬五千七百九十四圓で同町
より人口の多きを誇る内郷村
の同費八萬七千四百九十三圓
より一萬八千二百二十六圓多
く此の點に於て純然たる都市
の体面に匹敵すべくでもない
炭礦村との差異を窺はれてゐ
るが大部分は三ヶ小學校の職
員給に支出される同町の現職
員は第一校二十九人、第二校

急角排除の大英斷 元警察署前の舗装

小林所長の努力を賞される 本月一杯で竣工の豫定

平町紺屋町通りの道路舗装工
事は更に研訂通り材木町角ま
で施行の豫定であつたが本年
は同所を打切り元警察署前か
ら才樋小路に向ふ土橋通りの
三十五米に施工費を行ふこ
とになつた同所の舗装は目下
改築中の市原商店及び鹽屋商
である

適期に處分せば 兎で三萬五千圓

石城の養兎はザツト五万頭 郡農會で共同販賣斡旋

石城郡農會では本月下旬早々
から山田村の百頭余を最初と
する筈であるが本年の相場は

アイランドと云ふのは 島のことだ。鐵道のホ ムと云ふのは、ホームの 意味で上下の線路で 以て一つのホームを扱 んだもの即ち島式の乗 降場とされたもの

泉村の農會主催 農經營改善講演

高木帝國農會參事を聘んで 去十四日同村小學校にて

石城郡泉村農會では去る十四
日午前十時同村小學校を會場
に帝國農會參事土屋春樹氏を
招聘し農經營改善の講演會
を開催したが聴衆二百餘名の
盛會であつた同氏の講演は經
營の内容に及ぶもので農家
の多くは現金所有が少なく
め自ら貧を唱ひてゐるが土地
その他即ち物の資本を計算に
入れば決して悲觀すべきで
なく甚だ遺憾なことは其の總
てに對し收支の記帳を重要視
されず計算觀念が乏しい結果
として自分の仕事に自分で判
らぬと云ふ現狀にある之れで
は改善の指針が立つ筈でない
から記帳の大切性を説かねば
ならぬと説いて午後二時半閉
會後同村の篤志者志賀之助氏
の農經營を視察の後平町に一

大浦村の 村道修理

部落民喜ぶ

石城郡大浦村大字大森地内の
村道約半里が今秋の水害で仁
井田川に架かる國道の松葉橋
を流失されて復舊工事中の交
通止め同村道を通回する乗
合自動車及びトラックを初め
頻繁なる車馬の交通に荒され
て思ひもつた復舊費に困り
平土木監督所に善後策を依頼
中であつたが監督所としても
村道の修理に助勢すべき工夫
がなく困つてゐたところ今回
同地の縣道中島四會線を修理

大觀と比肩する 画伯は眞赤な嘘

自作の番付で大法螺を吹き 石城から四千圓を詐欺

小名濱町吉田屋旅館方に於て
本年夏大觀伯を氣取つて自他
齋の齋を斡旋したる小名濱町
の揮毫を全部自作と稱し一幅
七八十圓から數百圓をせしめ
てゐた東京宇板橋區谷口町一
の六齋家武田玉齋(○)に對し
不審と腕んだ平署が内偵中で
あつたが同人は新瀉縣頸城郡
生れ前科三犯の大詐欺師で自
己の作つた齋家の番付に横山
大觀と肩を並べて一般に示し
同様手段で各地に不正を働い
てゐるものと判り去る十二日
安藤刑事部長は埼玉縣桶川町
に於て齋會準備中の玉齋を取
押へたが石城地方では同人の
大法螺にかゝれるもの杉山炭
礦主の七百圓を初め約四千

飯野村の 農産品評

優良品をへ

石城郡飯野村農會主催の農産
品評會は来る二十一日から二
十三日まで同村小學校に於て
催されるが平町の供給を控ふ
同村の蔬菜は郡内の模範と
すべきもの少なからざるらし
く郡農會から青山技師その他
審査に出張の由で最終二十三
日午後優良品に褒賞授與式を
舉行すると

新史 三箱の湯本 城趾に就て

吉野朝臣廣橋經泰が常與 海道經略の本據(勿來學人)

是の月、陸奥介兼領守大将 男親朝の不烈に原因して、北
軍顯信卿、重ねて赴任の途に 畠卿父子孫(後ち顯信卿の子
就き、五月前後常陸に著し、守親卿も陸奥守に任じて下向
六月十一日、陸奥に入り、親 實戰)三代の東國王業は結局
房卿と相應して克復を期さん 悲愴に終り、加へて賊の攻撃
とした。併しながら宗廣の長 ますます激しく、茲に攻守全

江名町の品評會

三日間神白農業倉庫に於 て催されるが依米品評會を併 せて開かれる筈で蔬菜は青山 郡農技師、依米は松本平毅檢 支所長審査の由

石城郡上遠野村、入遠野村聯
合の二毛作及び苗代並に堆肥
品評會は後ねて審査を了して
ゐたが来る二十二日午前十時
上遠野小學校に於て右の褒賞
授與式を舉げると

竹州畫伯の 作品頒布

來廿三日三益で

平地方同好によつて畫伯石井
竹州氏を聘べる同氏の頒布畫
會は豫期以上の希望者に達し
其の數實に百を超える盛況を
迎へたが来る二十二日午前九
時から午後四時まで平町字田
町三益に於て頒布會を開き右
全作品を申込相互の展覽に供
する外畫伯數氏の席上揮毫も
ある筈であるから之また非常
な盛會であらう

坑夫二名落磐死

石城郡好間村の北好間開田川 炭礦一坑内で去る十二日午 後十時作業中の同地松田金太 郎方坑夫朝生生れの石山金太 郎(三)及び小林昭一郎(六)は 落磐の下敷きとなつて苦悶し 居るを引きあげ醫師の手當を 盡したが効なく絶命した

間は、常野與を疾驅し、親房
卿と顯家將軍の二世に勤め、
且つ所在官軍に方略を授け、
兼ねては靈山城將、次で三箱
城將と爲り、實戰數度に及び
然も毎年に三箱城を根據とし
て各地を往來、復た之に還へ
りて計策せる關係は、實に延
元々年三月より關城の陥落ま
でと見做して八年である。其
の忠烈、キイ男は、顯時、顯
國と正に同一たるは勿論であ



簡易罐詰

縣農試講習會録

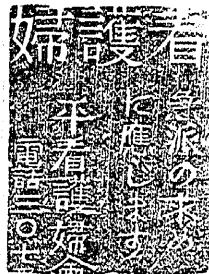
一、罐詰、罐詰の概念
 肉類のみならず果物、蔬菜類は不用部分を除き原料詰及び味付詰として罐詰、罐詰となし隨時に食卓に供すること出来る、之れ等の罐詰、罐詰は永き間の保存に對し防腐を施さねばならず、元來食品の腐敗は微生物の繁殖によるものなるが故に容器、道具のみならず填充材料も除菌または殺菌操作として熱浴をしなければならぬ、微生物を殺す温度は華氏七十度位なれどもその胞子を殺すには沸騰點まで熱するの要がある、餘の高熱で然も長時間熱すれば材料は食味、色澤等を減殺するが故に、許す限り短時間に殺なければならぬ、かくする時は殺菌が充分に行はれない惧があるを以て菌の繁殖を腐ぐため罐内の壓力を低減する斯の如く材料を密封するとき空氣を逃ししむることを脱氣と稱し罐詰製造中必要なる操作である、尙ほまた菌類の繁殖を防ぐには酸類を加用するか或は材料液の鹽分、糖分濃度を高めるのである、かく減壓酸度濃度を應用し密封したる罐詰は沸騰加熱時間が短かくとも腐敗の惧れがないと云ふことになる、勿論罐詰は密封されてあるが故に外界から菌類の侵入もないのである

二、罐詰工程
 (一)材料準備、適當時期に材料を採集し、剥皮、切斷せるものは水洗し、填充前

に於てゆでるか、蒸すか假漬する、

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三 屋 平町 用命は 三三三 屋 用町



◆一般印刷物も御引受け致します
 新いわき新聞社印刷部

冬の流行洋品御案内

新柄シヨール豊富陳列
 ソフト帽とネクタイ多数取揃
 優良毛布とハンカチ豊富
 毛織新型子供服とケーブメント

にヤルツ
 〇四一電 四平

産科 婦人科 院長 木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
 藥劑師 大岩俊雄
 平町新川町九一
 入院隨意 木村病院
 病室完備 電話一六四番

食事、喫茶、酒場を兼ねた

冬のサロシ

暖房設備が出来ました

暖かいミルク(牛乳) 十銭
 御飲物リフトン紅茶 十銭
 お菓子 十五銭

御家庭の延長として是非御利用下さいませ

平・田町・電352

目科療診

一、齒科 一般
 保存科、補綴科、齒齒工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、口唇外科、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
 日本齒科 醫學士 西川 誠
 平町田町松月堂向ひ 電話五〇九番

鼻の諸病に快鼻湯 有効保証

本湯は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發せられし方々も本劑の服用により快癒された喜びの福狀が各地から参つて居ります

効能 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨灣曲症、並に中耳炎に神效の贊談を受く

(快鼻湯) 製劑販賣元 水野藥局
 警城平町一丁目(電話六九九番)
 振替口座仙台(八八七六番)

平町紺屋町 藤沼醫院

電五〇七番

ス・イ・ン G・H・N 元詰
 ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

料理人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

農村の更生振興に 天然加里肥

最も適應する作物!

蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
 瓜果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を興へ落果を防ぎます
 天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壤を感酸する虞は絶對にありません

一俵 廿五錢

製造販賣 金成國雅
 平町鎌田 電話六八八番

貨物自動車、の御用命に應じます

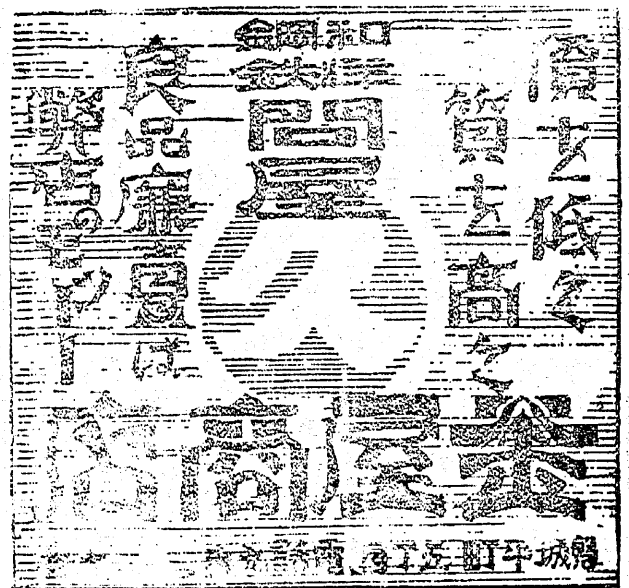
開院 五十嵐産科醫院
 醫學博士 五十嵐雄二
 入院需應 平町新川町一七
 電話三七〇番

洋服は 高島屋

注文並に既製品

冬物 入荷

高島屋洋服店
 平町二丁目 電話三八六



石炭 平町郵便局通り
 コークス 水野石炭店
 炭 電話二九九番